

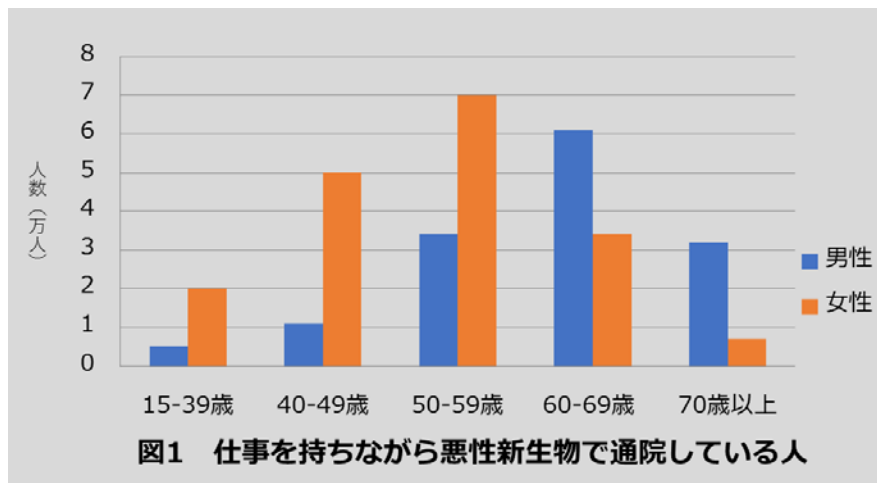
がんと就労の視点から

健康開発学科 健康行動科学専攻 教授 上原里程

現在は、がんに罹ったとしても治療によって質の高い生活を送ることができる可能性が高くなってきています。働いている方ががんに罹った場合は、そのような状況において、がんになっても働き続けたいと願うのはごく自然のことです。しかし、がんを患いながらも本当に働くことができるのだろうか、という不安があるのもまた事実でしょう。今回はがんと就労に関する現状と課題、そしてその対応策について厚生労働省の資料¹⁾などを基にお伝えしたいと思います。

1. がんと就労の現状

仕事をもちながら、がんで通院している人は全国で 32.5 万人（男性 14.4 万人、女性 18.1 万人）いると推計されています。男性では 60 歳代、女性では 50 歳代の方が多く、40 歳未満の方も珍しくありません（図 1）。



* 1)のグラフを一部改変

一方で、がんの診断後に勤務者の 34%が依願退職、解雇されており、自営業等の者の 17%が廃業しているという報告もあります（いずれも 2013 年の調査結果¹⁾）。これらの数値は 10 年前の 2003 年と比べてほぼ変化がありませんでした。つまり、この 10 年間でがんに罹った方が仕事を続けられない状況に大きな改善が見られなかったということが言えます。がんの治療を続けながら仕事も続ける、つまり治療と仕事を両立させるにはどうすればよいのでしょうか。このことについて、国が進める対策を見ていきたいと思ひます

2. がんと就労についての国の対策

国では 2012 年に作成した「がん対策推進基本計画」において、がんと就労の問題を重点課題として取り組む方針を打ち出しています。さらには 2015 年の「がん対策加速化プラン」においてもがん患者の就労支援について 4 つの具体策を提示しています（図 2）。それらの具体策について見てみましょう。

- ・仕事の継続を重視した相談支援（がん診療連携拠点病院など）
地域でがん診療の中心的役割を担うがん診療連携拠点病院に「がん相談支援センター」

を設置し、がん患者が抱える就労に関する問題をくみ上げ、適切な情報提供と相談支援をおこなうものです。

- ・仕事の継続を重視した相談支援（がん診療連携拠点病院など）
- ・がん患者の就職支援（ハローワークなど）
- ・専門の相談員による医療機関や企業に出向いた相談対応（産業保健総合支援センター）
- ・治療と職業活動の両立等の支援活動（企業）

図2 がん対策加速化プランにおける就労支援策

- ・がん患者の就職支援（ハローワークなど）

ハローワークに専門相談員を配置し、がん診療連携拠点病院と連携して就職支援をおこなうものです。

- ・専門の相談員による医療機関や企業に出向いた相談対応（産業保健総合支援センター）
- ・治療と職業活動の両立等の支援活動（企業）

企業では、従業員の健康管理を担当する産業医や産業保健スタッフによる相談体制の充実とともに、産業医と主治医との連携体制を構築するなど医療機関との連携を強化することが求められています。また、企業でどのような支援ができるのかについては厚生労働省が2016年に「事業場における治療と職業生活の両立支援のためのガイドライン」を作成し普及に努めています²⁾。ガイドラインではがんに関する留意事項として、がん治療の特徴を踏まえた対応、メンタルヘルス面への配慮やがんに対する不正確な理解・知識に伴う問題への配慮が挙げられています。また、一部の企業では、短時間勤務やモバイルワークなどの勤務制度を組み合わせるなどによって、がんの治療を行う社員への就労支援を独自に強化しています³⁾。

以上のことから、国では関係機関や企業と連携してがん患者の就労支援に取り組んでいることがわかります。また、独自に就労支援を行う企業も出てきました。このように、様々な就労支援策によって今後はがんを患っても治療と仕事が両立できる環境が整っていくことが期待できるのではないのでしょうか。

最後に、がんと就労についてさらに詳しく知りたいという方は、国立がん研究センターがん情報サービスのホームページ⁴⁾をご参照ください。

文献

1) 厚生労働省：がん患者のおかれている現状と就労支援の現状について

http://ganjoho.jp/data/med_pro/liaison_council/bukai/data/shiryo8/20161208_03-2_1.pdf（平成29年8月29日閲覧）

2) 厚生労働省：事業場における治療と職業生活の両立支援のためのガイドライン

http://www.mhlw.go.jp/file/04-Houdouhappyou-11201250-Roudoukijunkyoku-Roudoujokukenseisakuka/0000113625_1.pdf（2017年8月29日閲覧）

3) 本田麻由美：がん患者の就労支援・相談体制の現状と課題－患者・家族の立場から。公衆衛生，81：247 - 252，2017

4) 国立がん研究センターがん情報サービス：がんと仕事のQ&A

<http://ganjoho.jp/public/support/work/qa/index.html>（2017年8月29日閲覧）